

【概況】

1 内政

- (1) 新憲法公布
- (2) 人民権力全国議会特別会期
- (3) 第21回キューバ労働者連合（CTC）総会

2 外交

- (1) チャップマン国家評議会副議長のケニア訪問
- (2) 日本対キューバ無償資金協力による廃棄物収集車供与式
- (3) 邵鴻中国人民政治協商会議副主席の来訪
- (4) ヘルムズ・バートン法第三章発効（一部を除く）の2週間延期
- (5) ロシアによる囚人護送車の寄贈
- (6) アクフォ＝アド・ガーナ大統領の来訪
- (7) エスピノサ第73回国連総会議長の来訪
- (8) シルバ・モザンビーク解放戦線書記長の来訪
- (9) オヨノ・エソノ赤道ギニア外務・協力大臣の来訪
- (10) キューバ野球連盟と米大リーグ機構との協定破棄
- (11) 第4回キューバ・ベネズエラ移民協議の開催
- (12) クエスタ国家評議会議長夫人の中国訪問
- (13) 第1回キューバ・EU持続可能な開発対話の開催
- (14) ガコソ・コンゴ共和国外務・協力・在外コンゴ人大臣の来訪
- (15) カブリサス閣僚評議会副議長のアンゴラ訪問
- (16) ヘルムズ・バートン法第三章発効の決定
- (17) ベヘラノ国家評議会副議長の中国訪問
- (18) クリスト米国下院議員の来訪
- (19) ロドリゲス外務大臣のコスタリカ訪問
- (20) ベネズエラ情勢

3 要人往来

- (1) 来訪
- (2) 往訪

【本文】

1 内政

(1) 新憲法公布

10日、人民権力全国議会第9立法期第2回特別会期が開催され、新憲法が公布された。また、同日に新憲法を掲載した官報が発行された。

エステバン・ラソ人民権力全国議会議長が人民権力全国議会第9立法期第2回特別会期の開催を宣言し、これまでのキューバの憲法の歴史の概略を説明した後、アリーナ・バルセイロ全国選挙委員会委員長から2月24日に行われた国民投票の最終結果についての説明があった。最後に、ラウル・カストロ共産党第一書記が演説を行い、新憲法が公布された。

(2) 人民権力全国議会特別会期

11日及び12日、人民権力全国議会各常設委員会が開催された。翌13日には、「2030年に向けた経済社会開発計画」の進捗を評価し、「経済社会政策方針」の導入状況を確認するための人民権力全国議会特別会期が開催された。会合では、ミゲル・ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長が、新憲法公布の重要性を訴え、新憲法で定められた内容を推進するための国内法整備に尽力しなければならないとの演説を行った。

(3) 第21回キューバ労働者連合（CTC）総会

24日、第21回キューバ労働者連合（CTC）総会閉会式が行われ、ラウル・カストロ第一書記、ディアスカネル議長等が出席した。同総会では、ウリセス・ギラルテCTC事務局長が再選された。

2 外交

(1) チャップマン国家評議会副議長のケニア訪問

3月31日から4月2日、イネス・チャップマン国家評議会兼閣僚評議会副議長はケニアを訪問した。同副議長には、アルマンド・ベルガラ外務省二国間総局次長及びエルネスト・ゴメス駐ケニア大使が同行した。

1日、チャップマン副議長は、ウフル・ケニヤッタ大統領を表敬したほか、ケネス・ルサカ上院議長及びシシリ・カリウキ保健長官とそれぞれ会談した。また、同副議長は、ケニアで活動するキューバ医療団と意見交換した。2018年6月から、ケニア国内47県において100名のキューバ人医師が活動している。

翌2日、チャップマン副議長は、ウィリアム・ルト副大統領と会談した。会談後、両者は共同記者会見に臨み、ルト副大統領はケニアの医療制度の改善に果たすキューバ人医師の役割を賞賛するとともに、キューバの予防医療における経験の重要性を強調した。

(2) 日本対キューバ無償資金協力による廃棄物収集車供与式

1日、日本対キューバ無償資金協力による廃棄物収集車供与式が行われた。本件は計100台供与される廃棄物収集車の第一便として最初の24台が到着したことを受け実施される。供与式では、藤村駐キューバ大使が、今年はハバナ市制500周年および両国の外交関係樹立90周年という意義深い年であり、本件は両国の友好関係の現れである旨挨拶した。

(3) 邵鴻中国人民政治協商会議副主席の来訪

1日、ラソ人民権力全国議会議長は、キューバを公式訪問中の邵鴻（Shao Hong）中国人民政治協商会議（CCPPCh）副主席と会談した。

邵副主席は、中国人民政治協商会議がキューバをハイレベルの最初の訪問先に選んだのは、二国間関係に重要性を置いているからであると言及するとともに、キューバも参加する「一帯一路」イニシアティブの進捗について説明した。

ラソ議長は、中国がキューバの第2位の貿易相手国であることを指摘するとともに、キューバも中国との外交関係に高い優先度を与えており、二国間関係は「米国による干渉の試みにも負けずに続いている」と述べた。

同会談には、キューバ側からアナ・マリ人民権力全国議会副議長、ロランド・ゴンサレス同議会国際関係委員会副委員長、カリダ・ディエゴ・キューバ中国友好議員連盟会長、オマール・トーレス同議会スタッフが同席した。

また、翌2日、サルバドール・バルデス・メサ国家評議会兼閣僚評議会第一副議長も邵副主席と会談した。

(4) ヘルムズ・バートン法第三章発効（一部を除く）の2週間延期

3日、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣は、米務省によって同日に発表されたヘルムズ・バートン法第三章の発効を一部を除いて5月1日までさらに2週間延期することを拒絶するメッセージを自身のツイッターに投稿した。

(5) ロシアによる囚人護送車の寄贈

3日、ロシア政府は、キューバに中古囚人護送車5台を寄贈したと発表した。同護送車はKamAZ社製で、額は3,610万ルーブル（約55万ドル）と報じられた。

(6) アクフォ＝アド・ガーナ大統領の来訪

3日から6日、ナナ・アド・ダクワ・アクフォ＝アド・ガーナ大統領はキューバ訪問した。同大統領には、シェリ・アヨコー・ボチュウェイ外務・地域統合大臣、クワク・アジマン＝メヌ保健大臣、マシュー・オポク・プレンペー教育大臣及びナポレオン・アブドゥライ駐キューバ大使が同行した。なお、本年は、キューバ・ガーナ外交関係樹立60

周年にあたり、ガーナはサブサハラ諸国の中で最初にキューバと外交関係を樹立した国である。

4日、ディアスカネル国家評議会議長は、アクフォ＝アド大統領と会談し、両首脳は良好な二国間関係及び地域・国際情勢について意見交換した。また、同日、ラソ人民権力全国議会議長もアクフォ＝アド大統領と会談し、両者は、キューバ革命指導者フィデル・カストロの遺産を想起し、フィデルがキューバとアフリカ諸国との団結に尽力したことを評価した。さらに、5日には、アクフォ＝アド大統領はハバナ大学大講堂において講演を行った。同講演には、ロベルト・モラレス共産党政治局員・国家評議会兼閣僚評議会副議長及びミリアム・ニカド・ハバナ大学学長（共産党政治局員）が出席した。

（7）エスピノサ第73回国連総会議長の来訪

3日から6日、マリア・エスピノサ第73回国連総会議長はキューバ訪問した。同議長には、ジャーニット・モルガン総会議長室次長、アンドレス・フィアージョ政治顧問及びアナ・サンドバル渉外顧問が同行した。

4日、ロドリゲス外務大臣は、エスピノサ議長と会談し、両者は現下の国際情勢を踏まえ、特に国連において多国間主義を強化する必要性で一致した。また翌5日、ミゲル・ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長は、エスピノサ議長と会談し、両者は国際社会における平和と安全を守り、地球規模課題に対する集団的解決を模索するという国連の役割を遵守していくことで一致した。

また、エスピノサ議長はロドリゴ・マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣及びテレサ・アマレジエ・キューバ女性連盟（FMC）事務局長（国家評議会委員）とそれぞれ会談したほか、国際関係高等院（ISRI）で講演した。

（8）シルバ・モザンビーク解放戦線書記長の来訪

5日、ラウル・カストロ共産党第一書記は、キューバ訪問中のロケ・シルバ・サムエル・モザンビーク解放戦線（フレリモ）書記長と会談した。また、8日には、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長もシルバ書記長と会談し、シルバ書記長から、サイクロン「イダイ」による被害に対するキューバからの支援に対し重ねて謝意を表した。

（9）オヨノ・エソノ赤道ギニア外務・協力大臣の来訪

6日から9日、シメオン・オヨノ・エソノ・アング赤道ギニア外務・協力大臣はキューバを訪問した。なお、キューバと赤道ギニアは1972年12月27日に外交関係を樹立した。

8日、ロドリゲス外務大臣は、オヨノ・エソノ外務・協力大臣と会談し、両外相は二国間関係について協議するとともに、保健、教育、農業、建設などの分野における政治・協力対話を強化していく意志を確認した。

また、同日、リカルド・カブリサス閣僚評議会副議長は、オヨノ・エソノ外務・協力大臣と会談した。カブリサス副議長は、米国の対キューバ経済・貿易・金融封鎖との戦いへの赤道ギニアによる支持に謝意を表明した。

(10) キューバ野球連盟と米大リーグ機構との協定破棄

8日、キューバ野球連盟（FCB）は、同連盟が米大リーグ機構（MLB）と2018年12月に結んだ協定を米国政府がFCBはキューバ政府機関であり同協定は無効であるとしたことに反対する投稿を同連盟のツイッターに掲載した。

本件については、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長も自身のツイッターに批判する投稿を行っており、ロドリゲス外務大臣が同投稿をリツイートした。

(11) 第4回キューバ・ベネズエラ移民協議の開催

8日、カラカスにおいて、第4回キューバ・ベネズエラ移民協議が開催された。同協議は、移民管理、移民の違法な取引及び人身売買に効果的に対応する制度として、移民に関する警戒及び安全情報の交換のための移民に関する覚書への署名を行う良い機会ともなった。キューバ側代表団団長はエルネスト・ソベロン外務省領事・在外キューバ人担当総局長が、ベネズエラ側代表団団長はラウル・リー外務人民権力省カリブ担当次官が、それぞれ務めた。

(12) クエスト国家評議会兼閣僚評議会議長夫人の中国訪問

9日、リス・クエスト国家評議会兼閣僚評議会議長夫人が中国を単独公式訪問し、彭麗媛・中国国家主席夫人と会談した。クエスト議長夫人は、中国による長きにわたる支援に謝意を表するとともに、両国の交流を推進し、キューバ・中国間の友情を強化するため、来年の外交関係樹立60周年の機会を活用したいと話した。

(13) 第1回キューバ・EU持続可能な開発対話の開催

16日、ハバナにて第1回キューバ・EU持続可能な開発対話が開催された。キューバ側はロドルフォ・レジェス外務省多国間問題・国際法総局長が、EU側はステファノ・マンセルヴィシ欧州委員会開発協力総局長が、それぞれ議長を務めた。同対話は、2017年11月1日のEU・キューバ政治対話及び協力に関する合意の暫定適用後、持続可能な開発に関して初めて行われた対話であった。同対話では、アジェンダ2030及び持続可能な開発目標（SDG）の導入に向けて両者が到達した成果及び今後の主な課題について意見交換された。同対話の枠組みで、60百万ユーロに上る持続可能な開発のための合意への署名が行われた。

また、ロドリゲス外務大臣は、マンセルヴィシ総局長と会談し、EU・キューバ政治対話及び協力に関する合意を効果的に適用していく意志を再確認した。

(14) ガコソ・コンゴ共和国外務・協力・在外コンゴ人大臣の来訪

16日から18日、ジャン＝クロード・ガコソ・コンゴ共和国外務・協力・在外コンゴ人大臣はキューバ訪問した。同大臣には、ブルーノ・ジャン・リチャード・イトウア高等教育大臣等が同行した。

16日、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長は、ガコソ大臣の表敬を受け、両者は良好な二国間関係及び様々な国際情勢について意見交換した。また、18日、ロドリゲス外務大臣は、ガコソ大臣と会談し、両外相は5月10日に55周年を迎える二国間関係が良好な状態にあることを確認した。

さらに、ガコソ大臣はラソ人民権力全国議会議長及びホセ・ポルタル保健大臣ともそれぞれ会談した。

(15) カブリサス閣僚評議会副議長のアンゴラ訪問

15日から17日、カブリサス閣僚評議会副議長はアンゴラを訪問した。同副議長には、キューバ・アンゴラ協力・投資調整機構、教育省、高等教育省、保健省、外務省、外国貿易・外国投資省の幹部が同行した。

15日、カブリサス閣僚評議会副議長は、フェデリコ・カルドーゾ大統領府大臣とともに共同議長として第14回政府間合同委員会に出席した。カブリサス副議長は、アンゴラ全土に2,000名以上のキューバ人専門家が活動を行っており、数万名のアンゴラ人学生がキューバで学業を修めた点を強調した。17日まで続いた同委員会においては、2つの文書のみ署名が行われたが（残りは6月に予定されているジョアン・ロウレンソ大統領のキューバ訪問時に署名される）、カブリサス副議長は、両国の社会・経済体制全体に係る22分野における現状を確認できたと指摘した。同委員会閉会セッションには、マヌエル・アウグスト外務大臣も出席した。また、翌16日、カブリサス副議長は、ロウレンソ大統領を表敬した。

(16) ヘルムズ・バートン法第三章発効の決定

17日、ロドリゲス外務大臣は、マイク・ポンベオ米国務長官によって同日に発表されたヘルムズ・バートン法第三章の全面発効を拒絶するメッセージを自身のツイッターに投稿した。また、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長も同趣旨のメッセージを自身のツイッターに投稿した。

(17) ベヘラノ国家評議会副議長の中国訪問

24日、グラディス・ベヘラノ国家評議会副議長（会計検査院長）は、第2回「一帯一路」国際協力ハイレベルフォーラムに出席するキューバ代表団長として中国を訪問した。同代表団には、ホルヘ・ペドロモ情報通信大臣、フアン・カルロス・マルサン共産党中央委員会国際関係局長、アダルベルト・ロンダ・キューバ国際政治研究所（CIPRI）所

長等が参加した。

キューバは、2018年11月のディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長の中国訪問の際に署名され最近発効した「シルクロード経済ベルト構想及び21世紀海上シルクロード構想に基づく協力合意」により、一帯一路イニシアティブへの参加を強化している。

(18) クリスト米国下院議員の来訪

26日、ロドリゲス外務大臣は、複数の下院関係者及び企業家の一団を率いてキューバを訪問中のチャーリー・クリスト米国下院議員（民主、フロリダ、元フロリダ州知事）と会談した。会談では、二国間関係及び現下の国際情勢について意見交換が行われた。なお、クリスト下院議員のキューバ訪問は初。

(19) ロドリゲス外務大臣のコスタリカ訪問

28日から30日、ロドリゲス外務大臣はコスタリカを訪問した。キューバ外務大臣のコスタリカ訪問は、2009年3月18日に外交関係を再開して以来初。

29日、ロドリゲス外務大臣は、マヌエル・ベントウーラ・ロブレス外務大臣と会談し、両外相は良好な二国間関係を確認するとともに、貿易、教育、保健、科学技術、農業などの分野における関係強化に引き続き取り組んでいく意志を有していることを表明した。

外相会談後、両外相立ち会いの下、エドガー・モラ公共教育大臣及びダニーロ・サンチエス・バスケス駐コスタリカ大使が教育分野に係る協力覚書への署名を行った。

また、ロドリゲス外務大臣は、カルロス・アルバラード・ケサダ大統領を表敬した。

(20) ベネズエラ情勢

30日、ロドリゲス外務大臣は、ベネズエラ情勢に関し、キューバは兄弟国ベネズエラの憲法上の大統領であるニコラス・マドゥーロ、そのボリバル政府及び国民への強固な支持及び連帯を表明する旨のメッセージを自身のツイッターに投稿した。また、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長も同趣旨のメッセージを自身のツイッターに投稿した。

3 要人往来

(1) 来訪

邵鴻中国人民政治協商会議副主席

アクフォ＝アド・ガーナ大統領

エスピノサ第73回国連総会議長

シルバ・モザンビーク解放戦線書記長

オヨノ・エソノ赤道ギニア外務・協力大臣

ガコソ・コンゴ共和国外務・協力・在外コンゴ人大臣

クリスト米国下院議員

(2) 往訪

チャップマン国家評議会副議長のケニア訪問

クエスタ国家評議会議長夫人の中国訪問

カブリサス閣僚評議会副議長のアンゴラ訪問

ベヘラノ国家評議会副議長の中国訪問（第2回「一带一路」国際協力ハイレベルフォーラム出席）

ロドリゲス外務大臣のコスタリカ訪問